

RECOMMEND COMMENT

— 七尾市長からのメッセージ



七尾市長 茶谷義隆

能登七尾の持続可能性を高めるためにも、 SDGsへの取り組みを進めます！

七尾を象徴する風景として、能登の里山里海があります。

七尾市を含む能登地域では、海岸間際にせり立つ数百もの棚田や採れたての海産物が並ぶ朝市など、この地域ならではの風土を活かした景観や農漁村文化が脈々と受け継がれています。この自然と人が相互に影響し合いながら共存する仕組みは「里山里海」と呼ばれ、後世まで引き継ぐべき財産として、2011年には世界農業遺産に認定されています。特に、能登半島に囲まれた内浦である七尾湾は、穏やかな湾に里山が生み出す豊富なミネラルが河川を通じて入り込み、プランクトンやそれを食べる魚が息する天然の豊かな漁礁となっています。七尾市は、海の資源から漁師町としても栄え、同時に、能登らしい固有の農業文化も育み守られてきました。

一方で、七尾が抱える課題として、高齢化・人口減少は避けられません。

地方が抱える共通課題である高齢化による市内の事業承継者不足や卒業を機とする若者の流出は、七尾の地域経済への影響だけでなく、私たちの暮らしの礎となっている里山里海の維持の担い手不足にも直結し、里山里海の風景や、そこに息づく人々の文化・祭りの継承にも深刻な影響を及ぼす可能性があります。

SDGsが貴社と七尾にもたらすもの。

昨今の環境配慮型社会において、環境や社会的包摂を意識したSDGsを推進することは、企業における新たな事業機会やイノベーションの創出、投資の呼び込みなど大きなメリットをもたらします。

また、七尾が誇る里山里海という自然環境や歴史文化を最大限活用したSDGsを推進することで、里山里海を体感できる環境教育やワーケーションの受入れを通じて、首都圏の人々との関係人口の創出を促進することになり、地域経済の活発化・多様化をもたらします。

ぜひ、Webサイトで紹介しているSDGsプロジェクトをご覧ください、七尾の新たな一面を知って頂きたいです。これは代表的な一例であり、実際には、もっと多くの取り組みが進んでいます。もし、興味を持って頂いたのであれば、お気軽にコンシェルジュへお問い合わせください。七尾SDGsコンシェルジュが、七尾でSDGsプロジェクトを推進するにあたり適切な部署・組織・人へとお繋ぎし、その推進をサポートします。

貴社と七尾のお互いの持続可能性を高めるために一緒に手を取り合いませんか！？
七尾SDGsコンシェルジュをよろしく願い申し上げます。